

令和7年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和8年2月18日実施

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆事業所自己評価

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表										
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

法人名	株式会社ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・事業所の特徴	経営理念『年をとっても、障害をもっても、自分の望む場所で自分らしく生き続けていきたい。そんな想いを受け止めてくれる「優しい街」づくりに少しでも貢献していきたいと考えています。』 サービス付高齢者向け住宅の1階に事業所を置き、ご支援しております。
事業所名	よりそいの家・よかったね	管理者	岩崎 純一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			2人			1人		1人		4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を事業所内、運営推進会議内で周知する。 改善計画の中から優先順位を決めて振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価に取り組むことで自分たちを振り返ることはできたが、改善計画を振り返るまでには至らなかった。 	<p>取組みを継続していくことが重要であり、自己評価は振り返りと再認識の機会になっている。自己評価で明らかになった課題を、職員の個人目標に反映できると望ましい。意識づけや意識の維持にもつながるため、継続的に取り組むことが大切である。また、取組みが過度な負担とならないよう配慮することも必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運営会議改善計画の振り返り実施し、事業所ミーティングで計画の確認を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族、外部の方が心地よいと感じる環境づくり（整理整頓、清潔感、季節感や雰囲気等）を職員全員が意識して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓等は職員全員が意識して取り組むことができた。移転後は今まで以上に環境整備に努めることができた。飾りつけや制作物に関しては担当者中心に取り組みを再開しようとしている段階。 	<p>整理整頓は仕事の基本であり、利用者・職員双方の安全確保にも直結するため、引き続き重要な取り組みとして位置づけるべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や家族、外部の方が心地よいと感じる環境づくり（清潔感、季節感や雰囲気等）を職員全員が意識して取り組む。 5Sを掲示し、整理整頓の意識づけを行う。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちから率先して、利用者はもちろんそのご家族、職員、地域の方にあいさつしていく。 ・地域での認知度が少しでも上がるように情報発信の仕方を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、そのご家族、職員、外部の方にあいさつできていたと思うが、あいさつの啓発（あいさつ強化月間等）はできていない。 ・地域での認知度を高めるために看板は設置できたものの、具体的な地域での活動はこれから進めていく段階である。 	<p>あいさつの質について検討することは、職場内の活性化につながる可能性がある。また、地域との関わりについては、少しずつ地道に取り組んでいくことが望ましい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつチェック表を作成し、年2回振り返りを行う。 ・SNSを活用した月1回の情報発信を実施。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域へ出ていく機会（ドライブやなじみの場所への訪問、地域行事への参加等）を設けていく。 ・地域に出向けない方にも楽しみ（嗜好品の提供等）を通して、地域との関わりを少しでも感じていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブはできたが、その他は移転もあり難しかった。 ・移動販売を通して、嗜好品を買う楽しみは確保できた。 	<p>地域の行事（バーベキューなど）には、参加できる範囲で関わっていけると良い。少しずつ地域へ出ていく機会を増やすことも大切である。「自分で選んで買う」という買い物支援を継続できると望ましい。地域の散歩コースやドライブコースについても、情報提供を受けながら取り組んでもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所ミーティングで話し合い、利用者が地域へ出ていく機会（ドライブやなじみの場所への訪問、地域行事への参加等）を設けていく。 ・地域に出向けない方にも楽しみ（嗜好品の提供等）を通して、地域との関わりを少しでも感じていただく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の際に活動写真を用いて、活動報告を行っていく。 ・利用者個別の取組みについて、その経緯や利用者の意向、具体的な取組み状況等を会議の場で説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動写真を活用し、活動報告をすることができた。また、習字教室を見ていただくことができています。 ・利用者個別の取組み状況を含め、事業所の運営状況の報告や相談はこれから進めていく段階である。 	<p>習字などの活動については、写真などを用いて利用者自身に振り返ってもらう方法も有効かもしれない。運営推進会議に利用者家族が参加している事業所もあり、会議で出た意見や提案を事業所内で取り入れ、活用していくことが望ましい。利用者の楽しみにつながる提案を今後も行っていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族の参加を年1回呼びかける。 ・事業所改善計画の進捗を確認 ・会議の際に活動写真等を用いて、活動報告を継続的に行っていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被災時の様々な場面を想定して話し合う機会を設け、被災時等の簡易的な行動マニュアルの作成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移転後ハザードマップの更新、備蓄の保管方法の整備を実施することができた。 ・訓練等移転後できていないことも多く、災害対策強化していきたい。 	<p>地域では個別避難計画の作成が進んでいるが、地域役員が任期ごとに交代するため、計画の継承が今後の課題となっている。防災訓練は6月に実施され、三郎丸公園が指定緊急避難場所となっている。事業所の非常災害時の計画について地域にも周知しておくとうい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練に職員だけでも参加できるように調整する。 ・災害想定し、職員間の連絡訓練を実施する。 ・非常災害時の計画を地域に周知できるよう法人内で検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	6人	3人		10人

前回の改善計画
・ご本人やご家族のニーズを聞き、ご利用者の必要な支援をミーティング内で検討し、共有する。 ・相手を知るために、みんなが新規の方に積極的にに関わり、生活に対する本人の想いやこだわり等を具体的に記録として残し、記録を確認する事で共有し、サービスの提供を柔軟に変えていけるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者の必要な支援をミーティング内で検討し、共有することはできた。ご利用者に積極的に関わることはできたが、記録の記入や閲覧に関して、移転後うまくいかないことがあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		8人	2人		10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		8人	2人		10人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？		8人	2人		10人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		8人	2人		10人

できている点
新規利用者へ積極的にに関わり、声かけや観察を通して思いや不安をくみ取る姿勢ができていた。事前の情報収集やミーティングでの共有も行われ、支援の統一につなげることができた。分からない点は確認しながら業務を進めることができた。ご家族様にお会いした時は、あいさつしたり、本人様の様子をお伝えするよう努力した。

できていない点
記録や情報共有が不十分で、得た情報を業務に生かしきれない場面があった。本人・家族の思いや希望を深く聞く時間が確保できず、利用者全員の全体像の把握が不十分だった。ミーティング内での決定事項を忘れてしまう時がある。

次回までの具体的な改善計画
新規利用者への関わりを標準化するため、初期支援目安一覧を作成し、支援の1日の流れ・ケアの方法と注意点を明確化する。記録は短文で良いので当日中に残すようにし、日々の情報共有に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?		7人	3人		10人

前回の改善計画
・事業所のミーティングを通して、目先の話だけでなく、「目標(課題や問題点等含む)は何か」も共有していく。 ・定期的なミーティングで支援内容を振り返り、議事録の回覧で情報共有に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所のミーティングでは目先の課題について話し合うことがほとんどだった。定期的なミーティングで支援内容を振り返り、議事録の回覧で情報共有に努めることはできた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		2人	5人	3人	10人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2人	6人	2人	10人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3人	6人	1人	10人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	5人	3人	1人	10人

できている点
ミーティングを通じて利用者の思いや希望を共有できている。また議事録の回覧で職員間の情報共有も行えている。日々の関わりの中から本人の希望や思いをくみ取り、できる範囲で希望をかなえるようにしている。

できていない点
利用者一人ひとりの目標や希望の把握が十分でなく、深掘りができていないため、自己実現に向けた支援が不十分な場面がある。ミーティングでは、目先の話しで終わり、目標について話し合うまでは難しかった。

次回までの具体的な改善計画
利用者の希望や目標を把握するため、積極的に関わり、会話から得た情報を記録として残し、ミーティングで共有する仕組みを整える。ミーティングの議事録の回覧を徹底し、日常支援に落とし込む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		10人			10人

前回の改善計画

- ・基本的な介護や支援の方向性について、ミーティング等で具体的に決まった内容を職員一人一人が「知る」よう努める。
- ・共有された本人の気持ちや体調によりそいながら本人の「できる」ことを探り、日常生活の中で活かせるように支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果

移転後は、特にミーティングを通して決まった内容を「自分で理解しよう」とする職員一人ひとりの意識が高まっていた。また、「できること」「できないこと」「状況によってできたりできなかったりすること」を自分たちで探りながら把握しようとしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2人	4人	4人	10人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2人	8人			10人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		3人	5人	2人	10人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2人	6人	2人		10人
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		5人	5人		10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご利用者の体調や気持ちの変化に気づき、状況に合わせた声かけ・見守り・ケアができている。本人の「できること」を探り、日常生活の中で一緒に実行するよう努めた。ミーティング議事録、申し送りや連絡ノートで情報共有できた。支援中に迷った際は職員間で相談しながら安心できる対応に努めた。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

新しい情報が多く、以前の暮らしや生活歴の把握を含め、全てを共有しきれていない。情報の優先順位が分からず重要な情報が伝わらないことがある。支援方法が統一されず、帰宅願望への対応に戸惑うこともある。

次回までの具体的な改善計画

利用者の生活歴や以前の暮らしを把握するため、家族・本人からの情報収集に努め、得た情報を記録・共有する。支援方法の統一を図るため、支援目安一覧を活用する。帰宅願望などの難しいケースはチームで対応方針を決める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		1人	8人	1人	10人

前回の改善計画
・ご本人と家族との関係を大切にし、事業所が「架け橋」になれるように状況報告や感染症に配慮した面会の支援をする。 ・地域との緊急時・災害時の支援の連携について話す機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
電話やLINEを活用し、日々の状況報告や相談を行っている。面会については、あらかじめ面会時間を設定し、その時間内で対応している。地域との緊急時・災害時の支援連携については、まだ具体的な話し合いには至っていないものの、非常時に向けての備えは進行中である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		3人	7人		10人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れぬように支援していますか？		5人	4人	1人	10人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		2人	8人		10人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	4人	5人	10人

できている点
家族への状況報告や連絡をLINE・電話・写真送信などで行い、利用者の思いを代弁するなど情報共有ができています。日々の関わりから利用者の様子を把握し、これまでの生活を尊重した支援を心がけている。また、災害時の対応についてもミーティングで話し合うことができた。

できていない点
ご利用者の自宅での様子や家庭での生活状況や家族関係の把握が不足している。地域資源や民生委員との連携、災害時の地域との協力体制が整っていない。家族面会時の感染症対策が不十分。

次回までの具体的な改善計画
LINE・電話・面会時の報告を活用し、家族との関わりを深める。災害時対応は社内研修等で定期的に確認する。地域資源や民生委員との連携を探っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		8人	2人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「他の方の意見を聞くこと」を意識し、チームケアに活かすことでチームとして柔軟な支援ができるよう努める。 ・チームで迅速に情報共有できるよう、情報共有のツール・ルールを分かりやすいものにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>職員間での意見交換・情報交換が移転後活性化され、チームケアに活かすことができている。チーム内での情報共有は、職員連絡ノートや申し送り表など既存の物に手を加えて活用している。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		6人	2人	2人	10人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2人	7人	1人		10人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2人	6人	2人		10人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1人	7人	2人		10人

できている点	<p>利用者様の体調や環境に合わせて柔軟にサービス調整し、日々の変化に気づいた際はスタッフ間で相談・報告しながら支援している。申し送り表や連絡帳、LINEなど複数のツールを活用し、細かな変化も記録し共有に努めている。利用者様の楽しみにつながる地域行事やレクリエーションにも可能な限り参加してもらえよう努めた。</p>
--------	--

できていない点	<p>利用者様の変化に十分対応できない場面があり、柔軟な組み立てができないこともあった。情報共有のルールが曖昧で、口頭のみや記録漏れが発生することもある。事業所内でケアが完結しがちで、地域資源の活用や外部連携が弱い。判断に迷い、ケアが手厚くなりすぎる場面も見られる。</p>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>情報共有のルールや記録・口頭・連絡ツールの使い分けの方法を探る。事業所内でできないことは、地域資源を活用し外部との連携に努める。ケアの内容等をミーティングで振り返る。</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

6. 連携・協働

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		3人	4人	3人	10人

前回の改善計画
・サービス機関やマンション管理会社との会議に複数名で参加できるよう努める。 ・連携や協働した会議やイベントの内容を文章や写真で事業所全体で共有する。担当者任せにせず、役割分担できるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
サービス機関やマンション管理会社との会議に複数名で参加することは人員的に難しかった。会議等連携や協働できたこともあったが事業所全体で共有は不十分だった。今回の移転に関して、明確に役割分担できていなくても事業所全体で前向きに取り組むことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		4人	2人	4人	10人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4人		6人	10人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		2人	2人	6人	10人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1人	3人	6人	10人

できている点
医療機関・訪看・福祉用具など外部機関との連携が取れており、必要に応じた情報交換や相談に努めている。会議等には管理者（ケアマネ）が中心に参加している。事業所移行相手との情報交換・相談・協働は必要に応じてできた。

できていない点
地域との関わりがほとんどなく、交流の機会が作れていない。医療機関・訪看・福祉用具など外部機関との情報共有が円滑に行えず、遅延することがあった。

次回までの具体的な改善計画
地域との関わりは小さな取り組みから始め、地域行事や民生委員との交流機会を増やす。来所前や来所時、特変時に医療機関・訪看・福祉用具など外部機関との情報共有に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

7. 運営

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組めましたか？	2人	3人	3人	2人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・地域の方の運営推進会議へ継続して参加していただけるよう相談や依頼を続けていく。・運営推進会議の伝達方法や報告書を変更し、事業所内でも共有しやすいようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域の方や各サービス機関等が運営推進会議へ継続して参加していただけるよう相談や依頼を続けていきたいと思う。運営推進会議の伝達方法や報告書を変更するまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？		3人	5人	2人	10人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	8人	1人		10人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	1人	5人	3人	10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人		3人	6人	10人

できている点
連絡帳や報告書、画像などを活用し、日常の様子やレク、行事等をご家族にお伝えしている。ご家族との情報交換はできしており、要望や意見を元に日々のケアへの反映ができている部分もある。事業所ミーティングで運営に関する話し合いができ、利用者・家族からの意見や苦情に対し、都度対応と共有ができている。

できていない点
運営に関する話し合いは一定のメンバーで行うことができているが、全員の意見の反映には至っていない。地域の方の意見を直接聞く機会も少なく、地域との関わりや協働の取組みはこれからといった状況。運営推進会議の内容共有は不十分。

次回までの具体的な改善計画
運営推進会議の内容を全員が把握できるよう、ミーティング等で報告、共有する。運営に関する検討は、選定したメンバーで草案を作成し、ミーティング等で全スタッフの意見を反映できるよう努める。地域との関わりは小規模な交流から始め、事業所の取組みを知ってもらう機会を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	2人		10人

前回の改善計画
・事故、ヒヤリハット（現場での気付き）について、ミーティング等で振り返り（対策はどうだったか等）を継続する。 ・個人のスキルアップ、事業所のブラッシュアップを目指し、外部研修の情報を提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果
事故やヒヤリハットの振り返りを継続して行い、ミーティングで共有しながら再発防止策を検討できている。業務中の気付きも記録し、情報共有が習慣化している。社内研修や委員会研修、強化月間を通して学びを深め、内部研修やケアマネ勉強会にも参加している。個人のスキルアップ、事業所のブラッシュアップのために外部研修を活用できてはいない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	6人	2人	1人	10人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			2人	8人	10人
③ 地域連絡会に参加していますか			1人	9人	10人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1人	7人	1人	1人	10人

できている点
事故やヒヤリハット（ケアの気づき）を記録し、事業所で情報共有できている。また、振り返りを継続して行い、ミーティングで共有しながら再発防止に努めている。委員会（感染・事故防止・虐待等）を主体とした必須研修、強化月間を通して学びを深めている。新しい環境でも今までの経験を活かし、ケアの質向上に努めている。

できていない点
職場内の研修で毎月学ぶことができているため、外部研修や資格取得を目的とした研修への参加には至っていない。また、移行直後は事故報告書やヒヤリハットの提出が滞ることがあった。

次回までの具体的な改善計画
事故やヒヤリハット（ケアの気づき）は記録し、事業所内で共有する。定期的に振り返りを行い、ミーティングで再発防止に努める取り組みを継続的に実施する。感染対策・事故防止・虐待防止などの委員会を中心に、必須研修や強化月間を実施し、職員全体で学びを深める体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8年 1月 29日

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤職員 6人 非常勤職員 4人 計10人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		7人	2人	1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認する。 ・ケアの場面（特にスピーチロックについて）を振り返り、具体的な改善策を検討する機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>プライバシー、個人情報の管理について定期的に振り返りをする事で、再確認につながっている。ケアの場面（特にスピーチロックについて）を振り返り、具体的な改善策を決め、強化月間という形で取り組むことができた。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	4人	6人			10人
② 虐待は行われていない	7人	3人			10人
③ プライバシーが守られている	1人	5人	4人		10人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	5人	1人	2人	10人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	1人	5人	3人	1人	10人

できている点	<p>研修や強化月間を通して人権・プライバシーの重要性を再確認し、情報共有の際はタブレットの活用や、口頭で伝える場合は部屋番号で呼ぶなど配慮している。また、「ちょっと待って」など行動を抑制する声掛けに注意し、身体拘束や虐待につながる行為の防止に努めている。スタッフ全体の意識を維持するため、定期的な振り返りも行っている。</p>
--------	--

できていない点	<p>書類が見える場所に置かれてしまうことがあり、個人情報の管理が不十分な場面がある。また、排泄状況などを利用者の前で大きな声で伝えるなど、プライバシーへの配慮が不足することがある。また、新しい環境に慣れてきたことで接遇面での緊張感が薄れる場面も見られる。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>個人情報の管理方法を見直し、書類の保管場所・声の大きさ・情報共有の仕方を統一ルールとして明文化する。行動を抑制する声掛けの防止のため、定期的な研修等を行う。環境上の課題（目隠し不足など）は可能な範囲で改善し、スタッフの意識を維持するための振り返りを継続する。</p>
---------------	--